

編輯局報情

週報

第二五六號

(九月三日)

昭和十六年九月三日

日第三種郵便物認可

(毎週一回水曜日發行)

家庭防空の手引

我等は總て國土防衛の戰士

五錢



週報特輯 (九月三日)

家庭防空の手引



露光量違いにより重複撮影



露光量違いにより重複撮影

週報特輯 (九月三日)

家庭防空の手引

「家庭防空の手引」目次

空襲から如何に國土を護るか	三	組長はどうするか	一八
防空と國民精神	七	空襲警報が発令された	一八
隣組は焼夷弾をどうして防ぐか	一三	家庭ではどうするか	一八
1 ふだんからの準備	一三	組長はどうするか	二〇
各家庭での防火準備	一三	焼夷弾が落ちたら	二二
隣組での共同設備	一四	焼夷弾の種類と見分け方	二二
計畫を樹て置くこと	一五	焼夷弾の防火法	二二
2 防空警報が発令された	一六	防空従事者はどうするか	二六
家庭ではどうするか	一七	組長はどうするか	三〇
組長はどうするか	一七	火災になったら	三二
8 警戒警報が発令された	一七	爆弾は どうして防ぐか	三三
家庭ではどうするか	一七	1 爆弾の種類	三三
		2 爆弾の効力	三三
		木造家屋はどうなるか	三三
		鉄筋コンクリートの建物は	三三
		どうなるか	三三
		附 燈火管制の心得	四五
		爆弾は恐ろしいものではな	三三
		い	三三
		8 爆弾が落ちて来たたら	三六
		家庭にゐた場合	三七
		路上を通行中の場合	三八
		電車に乗つてゐた場合	三八
		自轉車、自動車で通行中の場合	三九
		劇場、映画館、百貨店等の客	三九
		鉄筋コンクリートの建物にゐた場合	三九
		勤務中の場合	三九
		不發彈の處置	三九
		4 防空壕について	四〇
		防空壕はなぜ作るか	四〇
		防空壕の作り方	四一
		防空壕に處する國民の心構へ	四二

空襲からいかに國土を護るか

近代戦に空襲は必至

航空機の發達は戦争の様式を一變させました。これまで戦争といへば、第一線の戦線だけで行はれてゐたものが、航空機の發達によつて、國內の各地に敵の飛行機が飛んで来て爆弾を落とすやうになつたからです。しかも近代戦が國家總力戦となり、全國民の生産力や國民精神の強弱が戦争の勝敗に重大な關係を持つやうになつたので、都市空襲の效果も非常に大きくなりました。従つて今日では、防空なくして國防なしと言はれてゐます。

どの程度の空襲を受けるか

近代戦に空襲が必至であるとして、一體どの程度の空襲を受けるだらうかといふことが先づ問題になります。これ

は何分にも敵機のことであり、しかも日進月歩の航空機のことですから、今日から戦争の場合を豫想して何機ぐらゐ来るだらうと的確に豫想することはできません。しかしどのくらゐの機数がやつて来るか、全然見當をつけないでは、無数の敵機が飛んで来るものと思つて無闇に恐怖したり、或ひは敵の勢力を侮つて思はぬ不覺をとつたりすることになります。そこで假りに現在敵機が飛んで来るとして、その空襲の程度を豫想して見ると、遠い將來のことはいざ知らず、まづ現在では大都市に對しては晝間なら二、三十機、夜間なら十數機、中小都市に對しては、敵機編隊の空襲があるといつた程度でせう。

ではどれぐらゐの敵機が、一體何回ぐらゐ空襲して来るだらうかといふと、ロンドンや重慶のやうに、連日連夜の猛爆を受けることは、わが忠勇なる陸海軍のある限り絶

對に考へられませんか。連日連夜ではありませんが、それでも時々、國內全體を通じて大都市に對しては數回、乃至十數回、中小都市に數回ぐらゐの空襲は受けるでせう。

どんなものを投下するか

そこで次に、この敵機がどんなものを投下し、どの程度の被害を蒙るかを考へてみませう。まづ爆弾ですが、爆弾は歐洲戦争の例を見ると五十キロ乃至百キロのものが一番よく使はれてゐるやうです。稀には二百五十キロといふやうな大型爆弾も使つてゐますが、これは特殊な軍事施設を爆撃するのに使つてゐるだけで、まづ手頃なのは五十キロ、百キロといふことになつてゐます。

日本のやうな離れた國を爆撃するとなると、距離が遠いので燃料を澤山積まねばならぬ關係もあつて、百キロ爆弾なら一臺の爆撃機に先づ十發、二十機編隊で來ても二百發といふことになります。爆弾の力は非常に恐ろしいものやうに考へられてゐるやうですが、實際に人命に與へる損害は意外に少いものです。勿論なにも防禦せず、廣場や

路上に密集してゐるところへ命中すれば死者を出しますが、爆弾に對する對策を心得てゐて、例へば防空壕はなくとも、爆彈落下の瞬間に大地に臥せるとかすれば、爆彈が案外近くへ落ちてゐても助かります。

都市空襲の場合に與へる爆彈の殺傷力は、備へがあれは、決して恐るべきものではなく、さして威力のあるものでもありません。従つて五十キロ、百キロといふやうな爆彈は、積んで來る數も少いし、滅多に命中するものでもなし、決して恐ろしいものではありません。

焼夷弾は隣組の手で

では一般の市中には何を落とすでせうか。

木造家屋の密集してゐる我が國の都市に對しては、焼夷弾攻撃に主力を注ぐであらうといふことは、既に常識です。焼夷弾は火をつけるマッチみたいなもので、焼夷弾そのものは爆彈のやうな破壊力は持つてはゐません。火災を起させて、これによつて都市を焼却しようといふ間接的なものです。従つて焼夷弾は、大型のもの一發より小型の

もの數發をバラ撒いた方が効果があります。焼夷弾にもいろいろの大きさがありますが、五キロか・十キロぐらゐが手頃とされてゐます。ロンドン空襲ではドイツ機が一キロの豆焼夷弾を多數投下してゐるといふやうな例もあります。

この焼夷弾なら、積載量一臺の爆撃機一臺でも五キロの焼夷弾二百發、二十機編隊だと四千發は積んで來られます。この四千發の焼夷弾がバラ撒かれたとすると、例へばそのうち七割は道路、空地などに落ちたとしても、残り千二百發は家屋その他延焼の危険のある個所に落下することになります。これだけの焼夷弾を手を拱いて放つて置いて、みんな火災を起させてしまつたとしたら、消防機關の手だけで消止め得ないことは明白です。従つてこれはどうしても、火災にならない前に隣組の手で、消止めなければなりません。

四月中のロンドン空襲で、ドイツ軍は六千機の大部隊で六千五百発の爆彈(百キロ爆彈なら六万五千發)を投下しましたが、人命への損害は死者五千、傷者五千といはれてゐます。これに反して、關東大震災では二、三日で十數万の

死者を出してゐます。しかも大部分は火災による焼死です。爆彈そのものによる被害よりも火災の慘禍の方が如何に大きいかが、この一事によつても明らかでせう。

しかし不意に襲つて來る震災とは異つて、空襲は豫期できる人爲的のもので、準備さへ出來てをれば、未然にこれを防止することができます。また石にカジリついても防止しなくてはなりません。石造や煉瓦造、或ひはコンクリート造等の不燃性の外國の家屋とちがつて、燃え易い木造家屋の密集してゐる日本では、敵の投下した焼夷弾で先づ、何よりも火災を起させないことがどうしても必要です。そして多數に落下する焼夷弾に對しては、どうして隣組の手でこれを處理せねばなりません。こゝにわが防空の特殊性として、いはゆる防火第一主義と隣組防火主義が生れて來ます。

空襲はいかにして防ぐか

敵機の空襲から我が國土を護る「防空」にも、廣い意味のもの、狭い意味のもの、或ひは積極的なもの、消極的なもの

の等種々の部面があります。最も積極的な方法は、敵の航空基地を空襲してこれを破壊してしまふことです。支那事變における皇軍の作戦がこれでしたが、それでも、劣弱な支那空軍でさへなほ九州と臺灣に空襲して来てゐます。空軍といふやうな移動性の大きいものを、徹底的に破壊することは至難の業であり、有力な空軍國を敵に廻した場合には空襲は必至と見なくてはなりません。

敵機が空襲して来た場合、監視哨、聴音機、照空燈等によつて敵機を発見し、防空飛行隊、高射砲、高射機關砲等によつて敵機を撃墜する、これがいよいよ軍防空です。

世間には軍の防空を過度に信頼して、「ナイニ敵機なんて飛んで来るものか」とクカをくいつてゐる人もあるやうですが、空は廣大無邊であり、全日本の國土に敵機を一機も入れぬといふことは航空機の特長性からいつて不可能です。撃ち漏らされた敵機が都市の上空に現はれることは避け得られぬことと覺悟して置かねばなりません。

隣組は國民防空の第一線

この撃ち漏らされた敵機が潜入して爆弾や焼夷弾を投下

した場合、それから起る火災を防ぐことは、さき程述べた通り全國民の仕事です。しかし國民がバラバラで焼夷弾に向つてゐたのでは、なかく消せるものではありません。そこでこれを組織化したのが隣組です。つまり十軒か十五軒の家が一組となつて、お互に力を協せて、自分の隣組の中へ落ちた焼夷弾を處置しようといふのです。

中には、焼夷弾などといふ恐ろしいものを隣組の手だけで果して處理できるかと疑問を持つてゐる人もあるやうです。しかし焼夷弾そのものは後にも述べるやうに決して恐るべきものではありません。恐ろしいのはむしろそれから起る火災ですから、その慘禍を未然に防ぐためには、隣組が協同一致、眞の隣組精神を發揮して勇敢に消防、消火に活躍することが必要なのです。大體焼夷弾が最も濃密に投下された場所でも、一隣組か二隣組に一發引受けるといふ意氣込みで、ふだんから指示された通りの準備と必要な訓練と知識さへもつてゐれば、空襲は決して恐るべきものではありません。

防空と國民精神

強い日本精神を持つこと

このやうに、空襲は決して恐ろしいものではなく、また、爆弾は滅多に當るものではありません。爆弾、焼夷弾、ガス弾の威力は意外に少ないのです。

爆弾、焼夷弾、ガス弾が實力以上に猛威を發揮するのは、國民の精神が脆弱であつて、戦はない前に既に空襲には敵はないものと負けてゐるからです。若し逆に、國民の魂なり氣力がしつかりとしてをれば、爆弾、焼夷弾の威力を實力程度に喰ひとめることが出来るのは勿論のこと、更に一步進めば實力以下に征服することが出来ます。

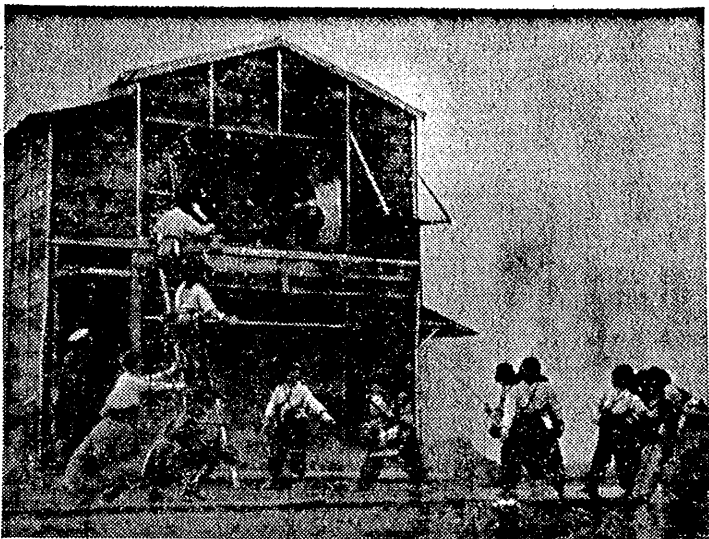
古い例ではありませんが、元寇の役で十萬の蒙古の大軍を筑紫の海底に居つて、我が國土の防衛を全からしめた直接

の原因は、いはゆる神風の賜ものですが、その根本の原因は北條時宗を始め當時の鎌倉武士の剛健な精神と國民の全てが盡忠報國の精神に燃え立ち、おのれをすてて一致團結して國難に當り、元軍何物ぞと勇斷奮起したためです。

これとは反對に、さきにお話したやうに關東大震災では地震そのものが漸く被害を喰止めることが出来ずに、その何十倍もの被害を惹き起したのは、當時の人達の大多數が、泰平の夢になれ、志氣がゆるんでゐたからで、激震に逆上して周章狼狽し、自分一人の安全を願つて逃げ出し、つひに大火となり、その上荒唐無稽な流言飛語に迷つて混亂に混亂を重ねたからです。

この二つの實例を見ても、國民精神が剛健であるかどうか防空勝敗、國家興亡の分岐點となる重大要素であること

隣組防火陣の組織的活動



とは明らかで、精神問題については別に多言を要しないと思ひますが、特に防空の見地から精神氣力、心構へ等について少し説明させよう。

國民は總て國土防衛の戰士

國家は國民全部の力で防衛するものであることは、今も昔も變りません。唯、日清・日露戰役當時には未だ飛行機がなく、また、第一次世界大戰では飛行機が軍用としては實用化してゐましたが、爆撃機としての威力は大したものはなかつたので、いはゆる戦線と銃後の區別が出来、國民皆兵の我が國でも、軍人だけが戦線に立つて弾丸雨飛の間で敵と戦ひ、國民の大多數は銃後にあつて敵弾を受ける心配もなく、専ら銃後の務めに勤んでゐました。

ところが最近二、三十年間の飛行機の進歩は實に素晴らしい、今まで敵弾を受けないものとされてゐた銃後も空襲を受けるやうになつて來ました。ですから、今日では銃後といふ氣持を持つのは誤りであつて、國內もまた戰場です。従つて國民は來襲する敵機に對しては當然戦闘し、克服

し、國土防衛の萬全を計らなくてはなりません。勿論、防空飛行機や高射砲等の武器で敵機を撃墜することは軍隊の任務ですが、敵の空襲の目的は、爆撃で戦闘員、非戦闘員の區別なく、老幼婦女子の差別もなく、軍事施設と非軍事施設とを選ばず殺傷破壊しようとするのですから、所嫌はずに投下される爆弾と戦闘することは、數に眼りのある軍隊に一任することは出來ないことで、また、非能率的でもあります。

このやうに戦争の形態が一變し、國內も戰場となつた今日では、戦線と銃後、戦闘員と非戦闘員を區別することは出來ません。國民は足腰立たない老人、小さい子供、病人等を除いて全て敵機來襲に對する國土防衛の戰士です。

兵役の義務を持つてゐる人々は、一旦緩急の場合、召集令狀を受けると、どのやうに家が貧しからうと、父母妻子が危篤であらうと、また、どのやうに地位が高からうと、一切を振り捨て、喜び勇んで應召し、一身一家のことは頼みないで、唯一途に君恩國恩の萬分の一に報いようとしてゐます。

國土が戰場となり、國民の全部が國土防衛の戰士となつた現在では、兵役の義務の有無を問はず、誰もが同じやうに帝國國民としての心掛を持つべきであります。この自覚と覺悟とが防空の基調となるのですから、互に相戒め相勵まして、今後ますます堅持することが大切です。

一死奉公、一致團結すること

戦争をする以上は死傷者が出ることはやむを得ないことです。問題は、どうすれば犠牲を少くすることが出来るかを考へ、それを實行することです。その最良の方法は、國民各自が一死奉公の精神を持つて強力に團結し、何時でも敵機御座んなれといふ決意を持つことです。

一死奉公の精神を持つためには、先づ第一に利己主義、個人主義を精算し、とかく陥り易い人情の弱點である自分一人、自分一家だけの安泰を顧ふことがあつてはなりません。いふまでもなく個人は國家と運命を共にすべきもので、たとひ、自分一人が助かつて、萬一國家が一大損害を蒙れば、個人の幸福などは到底望めないことです。

一致團結が必要なことは、今さら毛利元就の矢の教訓を引くまでもなく明らかです。國民がどんなに澤山をつても、一致團結を缺いてをれば、全く鳥合の大衆であり、支離滅裂で戦闘力は零です。

強靱な國民の團結を作るには、固より組織が必要ですが、それはさつきお話ししたやうにその基礎単位は隣組です。隣組を設定するのは、一軒々々各個ばらばらで敵に對抗しては、力が分散して効果がありません。

向ふ三軒兩隣式に、十軒なり十五軒のものが群を作り組を作つて、その力を集結するのです。従つて一組のものは、丁度一軒、一族であると考へるべきで、また、組である以上は、金のあるものは金を出して組の防空設備に密與し、人手のあるものは出来るだけ多くの人を出して組の防空に當るやうに、互に有無相通じ相助けるのが本旨です。

現在行はれてゐる隣組のやり方は、大部分が各家の實狀を考へずに、人手なり金なり物を一律平等に出して防空に當るやうになつてゐますが、これでは全く個人主義

であり形式的な組であつて、隣組本来の趣旨は没却されてゐます。

わが皇軍が世界無比の精銳を誇り得る最大の理由は隊長を中心として一致團結し、死生と苦樂を共にし、一死殉國の精神に燃え立つてゐるからです。

國士の防衛に當る國民も、この意氣とこの長所を十分に發揮しなくてはなりません。即ち組長を中心として強靱な團結を作り、おのれを捨て老幼病者を除く他は組のものがすべての力を擧げて空襲と戦はなくてはなりません。さうすれば、どのやうな空襲も猛爆も克服でき、死傷者は勿論のこと物的な損害も僅かですみます。

各自が持場を守る

現時局をいろ／＼と想像し自分で勝手な判断を下し、命令もないのに持場を離れて事前に避難したり退去したりしてはいけません。

私達が今住んでゐる市町村は、國土が戰場となつた今日では、軍隊でいへば守備すべき陣地であり、固守すべき城

です。

國民は、息子が、兄弟が、良人が出征する時に何と言ひますか。百人が百人、君のため國のため名譽の戦死を遂げるやう、卑怯なことはしないやうにと激励し、出征兵士も固く誓ふではありませんか。

せんか。

この悲劇悲壯なわが國民が、今やすべて戦場に立つことになつた現代の戦争では、自ら戒め他を勵まして絶対に卑怯なことを臆病なことをしてはなりません。



若し徒らに恐怖して、出征兵士を激励した言葉を忘れ、持場を逃げ出すやうなことがあれば、全く神國の神は勿論のこと、出征將兵に會はず顔がないではありませんか。

た都市で生活してゐる者は、官吏、社員、學生、勞務者、女中等、職業を問はず、また富んだ者も貧しい者もすべての者が、大なり小なり都市の恩恵や利益を受けてゐるのです。

それが、平素恩恵だけを受けて、一旦風雲急になると、都市を放棄して退去することは、日本の武士道、帝國の國民道徳からいつても許されなことです。

従つて、地方の都市の親戚とか漁村の別荘へ逃げたり、郷里に歸つたりして、自分一人のことを考へて國民と苦樂を共にせず防衛に任じないものがあるとすれば、法の制裁は別として道義的には非國民であると言はれても申譯がないわけです。このやうなものは、空襲されなくなつても都市に立戻らざる資格はないものです。また、地方在住の親兄弟は、逃げ歸つた者を訓戒し激励して戦線に立ち向はさなくてはなりません。

今次歐洲大戰が勃發した時、ベルリン以外にいたベルリン市民は、戦争の突發を知ると同時に、皆われ等のベルリンを守れと自發的に歸つて來たものです。また、空襲を受けると、多少は交通機關も遲滯すること

があるでせうが、それを口實にして持場につくの怠るの
は、總力戦士の恥辱と心得なくてはなりません。たゞ、
若幼弱者の事前避難とか退去といふことは考へなくてはな
りませんが、これは當局の命令で行へばよいのです。

しかし、現在豫想される空襲は、毎日晝夜を間はず大爆
撃を受けるのではなく、従つて大袈裟な退去よりも隣
組毎に或ひは區とか町とかで集めて收容し、更に用心をす
れば第二段の收容を考へる等のことをすれば十分です。そ
れを餘り心配するよりも、東亞の盟主である國民であるこ
とを自覺して、強い決意と空襲に對する正しい理解とを以
て戦ひ、眞剣に防衛に當ることが大切で。

大國民の襟度を持つこと

空襲は決して大きな被害のあるものではありません。
殊に全國民が國土防衛の戦士であることを自覺し、一死
奉公、團結を強くし、退却を考へずに敵弾と戦へば被害は
殆んどないのです。

しかし、現在の状態よりも多少は變化し、殊に交通・

通信機關に一寸故障があつたり、食糧・電氣・ガス・水道
に一時的の支障があつたり、極く一部のものが焼け出され
たりするものと豫想して置く方がよいでせう。

わが國現下の交通道徳は決して満點ではなく、また、
賣惜みや買溜が根絶しないのは残念なことですが、現在で
はこのやうな缺陷があつても、いざ空襲ともなれば狽てず
騒がず、弱きを助け、整然として交通道徳を守り、或ひは
賣惜みや買溜をせず、一本の煙草でも分けて喫む、あの戦
友愛と同じ氣持で、隣人愛、同胞愛を發揮してこそ、大國民
の襟度といふべきです。

萬一、人を押しつけたり踏み倒したり、或ひは同胞が衣
食に窮するのを見ても同情しないやうでは、共に手をと
つて戦はうとする精神が缺けてゐるから、國民の構成分
子たり得ないものです。

この心構へを持つことが第一で、その上にまず「防空
準備を固めて行けば我が防空は必勝です。そこでまづ、機
夷弾に對して家庭と隣組、即ち全國民はどんな準備と知識
を持つてゐなければならぬかをお話しませう。

隣組は焼夷弾をどうして防ぐか

ふたんからの準備

先づ、敵の空襲、殊に焼夷弾攻撃に對してわが國土を護
るために、各家庭や隣組では、不潔どんな準備をして置
けばよいかを述べませう。

各家庭での防火準備

防火水槽 防火に何よりも必要なのは水です。殊に同時
多發、しかも一瞬の遅延も許さぬ焼夷弾防火のためには各
家庭に五、六斗(百リットル)ぐらゐ以上はいる防火水槽が
必要です。尤もこれは立派な水槽でなくても、樽でも風呂桶
でも、これまでの天水桶でも、或ひはコンクリート管、土
管に底をつけたものでも、要するに五、六斗以上の水が入

る容器の準備ができてをればよいわけです。庭の池の水で
も結構ですが、たゞ實際の防火活動に當つて使用に便利
な位置にあることが必要です。

大きな家などでは一ヶ所だけでなく、數ヶ所に置く必要
もありませうし、二階建、三階建などの家では、各階に相
當量の水が必要です。

バケツ 注水用のバケツで、四升(八リットル)入りぐら
ゐのものが一軒に二、三個以上必要です。朝顔型のバケツ
が最も手頃ですが、必ずしもこれに限らず、準備筒型でも、
或ひは手桶などでも結構です。手送りで運ぶ場合のことを
考へて、できるだけ数の多い方がよいと思ひます。

砂又は土(二、三斗以上) これは直接焼夷弾にかけて火
焰を抑へるのに用ひます。一升か二升ぐらゐづゝ袋に入

れて置けば、シャベルなしでも手でかけられます。但し袋のまゝ投げつけるのではありませんから、口は直ぐ開くやうにして置いて下さい。なるべく乾いた砂の方がいいですが、手に入らなければ土でも結構です。

蓮(三、四枚) 水に浸して焼夷弾の上へかぶせ、火焰を抑へるのに用ひます。古ムシロでもゴザでも結構ですが、なるべく目の荒いものの方がよろしい。

ホース 水道の口に取付けて注水すると連続注水ができて非常に効果的です。できるなら家中のどの室へでも注水できる程度の長さのものを準備して置きましょう。井戸ポンプも壓力注水の出るものなら水道と同様の効果がありますから、同じ程度のホースがあれば有力です。

火叩き 長さ二米ぐらゐの棒の先きに、縄や雑布などを結びつけたもので、水に浸して屋根その他の高いところへ飛んで来た飛火の火の粉を消すのに用ひます。

火叩きの圖

水柄杓 長い柄のついた柄杓で、これも屋根その他の飛

火を消すのに用ひます。二米ぐらゐの棒の先きに普通の柄杓を結びつけても簡単に作れます。

作業用被服 消防作業に活動するのに都合のよい、活動自由な衣服です。焼夷弾に近寄るには、なるべく皮肉を出さないやうな衣服がよろしい。従つて男子は古洋服とか作業服、女子はモンペなどが適當でせう。足には靴又は足袋などを穿いてヤケドしないやうにし、頭にも帽子か頭巾を被ります。こんな服装をした上で頭から水をかぶつて衣服を濡して置けば焼夷弾に近寄つて活動しても安全です。頭巾などは廢品を利用して作れます。

井戸水、池水、流水などの利用 空襲の場合には水道が役に立たなくなる場合もありますから、井戸水や池の水、溝、川などの流水を利用することも考へ、設備が必要であれば平時からやつて置きましょう。古井戸は直ぐに使へるやうにして置きましょう。新たに井戸を掘ることも、空襲の場合に限らず、ふだんの防火用としてもお奨めしたいことです。

隣組での共同設備

以上のほかに、各戸に必要なといふ程ではありませんが、隣

組としては必要なものがあります。隣組の中の誰かが持つてゐるとすれば、勿論それを使用しても差支へありません。

隣組防火水槽 各戸に五、六斗ぐらゐの水は用意してある筈ですが、これは一時急場を凌ぐだけのものですから、更に隣組用として五、六石(一立方米ぐらゐ)以上はいる防火水槽が必要です。これもどんな形のものでもよいわけです。

シャベル 土や砂を焼夷弾にかけたり、焼夷弾を掘つて外へ出す場合などに必要です。

長櫓(約二米) 焼夷弾が天井裏などに止つた場合、天井や床を突き破つたり、或ひは焼夷弾を庭先などの安全な場所へ突き出すのに用ひます。

軽便梯子 いふまでもなく二階や屋根へ上つての消防に必要です。

網(二階からのバケツの返送や、下からの器具の引揚げ、人命救助など、消防作業に當つての網の用途は實に廣範囲です。

バケツ返送の場合の網には両端に長さ五寸ぐらゐの握り柄をつけておくべしと便利だ。

軽便ポンプ 放水能力毎分七十リットル(四斗)程度の二人押ぐらゐの軽便ポンプがあると非常に有力です。空襲の危険性の多いところでは、なるべく隣組用として一臺備へつけるのがよいと思ひます。これには長さ五十尺(十五米)ぐらゐのホースを二本以上附屬させて置きます。

泡沫消火器 または四酸化炭素消火器 これは油脂焼夷弾の消火に非常に効力のあるものです。油類とか薬品等の引火性物品を貯蔵してゐるところではぜひ必要ですが、一般のところでも、これがあれば油脂焼夷弾の消火に役立ちます。

消防用器具の準備

以上に述べた防火設備や器具を準備して置いて、いざ空襲といふ場合に各人がバラバラに行動したのでは、折角設備だけはあつても何にもなりませんから、ぜひとも平時から隣組や各家庭で一定の計畫を建て、これに基づいて

統一ある組織的活動ができるやうにしておこなうてはなりません。

家庭では

さきに述べた通り、わが国では國民の全體が防空に當らねばならないのですから、防空活動のできない病人や不具者、老人と子供を除いて、いやしくも空襲時に活動できる者は悉く焼夷弾防火に活動しなくてはなりません。そこで一般のこれらの人を防空従事者と呼びますが、このほかに一家の防空従事者の代表者ともいふべき防空責任者を一人づつ定めます。

しかし、「防空責任者を一人出しさへすればよいのだ」といふやうなこれまでの考へ方では駄目です。隣組に落ちた焼夷弾は、その隣組の家族總動員で消すといふのが建前です。大勢の人のゐる家で、女中一人を防空責任者として出して済ましてゐるといつたやうな心構へでは焼夷弾は消せません。人手の多い家は人手の少ない家の分まで引受けてやるといふのが隣組の眞精神です。

防空責任者は、空襲時に當つての家庭内での任務の分擔をはつきり決めて置きます。例へばお母さんは火の許を消

す係、一郎さんは戸を閉める係、お婆さんは子供を連れて避難する等と……。また家の中で火災が起つた時、消火に困るやうな場所があれば、その際の處置を考へ、これを家庭の全員に傳へておきます。

組長は

組内の防空従事者の人数に應じて、監視哨、送水係、消火係、掩覆防火係（焼夷弾に藁や土砂をかける係）、傳令等の任務の分擔をあらかじめ大體きめて置き、組内のどこに焼夷弾が落ちてアワテぬやうに周到な計畫を樹てて置きます。

防空實施が發令されたら

では次に、いよいよいつ敵機が飛んで来るかもわからぬといふやうな情勢となり、防空實施が發令された場合に、どんな措置をとればよいかを述べませう。こゝには順序として、防空實施が發令された場合、警戒警報が發令された場合、空襲警報が發令された場合、と別けて述べますが、實際問題としては防空實施となれば直ぐにも警戒警報が發せ

られるかも知れず、また警戒警報と空襲警報とが殆んど同時に發せられるかも知れませんから、防空實施が發令されたら、何時警戒警報や空襲警報が發せられても困らぬやう、できるだけ準備を進めておくことが肝要です。

家庭ではどうするか

(一) 防空實施が發令されたら、家庭では防空責任者が防火準備を點檢し、不潔計畫だけに止めてあつたものがあれば、直ちに實施に移します。防火器具なども直ぐに使えるやうになつてゐるかどうかを調べ、悪い箇所があれば直ぐに修理して置きます。

(二) 防火用水槽へ水を入れること、押入れ、戸棚、物置の中、屋根裏、床下等を整理して、火の着きやすいものを片付けることも、この時に直ぐにやつておく方がよろし

(三) 揮發油、アルコール、セルロイドその他の引火性の強い危険物を埋める穴もこの時掘つて置きます。

組長はどうするか

(一) 群長は先づ、組内が一目でよく見え、また連絡に便利な場所を選んで空襲の際の防護監視所を設けます。それからその監視に當る人の順番や交代、勤務方法を具體的に定めます。しかし實際監視に立つのは空襲警報が發せられてからです。

(二) 次に隣組の共同防火設備と器具を點檢し、それが終つたら組内の防火責任者を集めて、空襲警報が發令された場合の老人や子供、病人等の處置をどうするか、組内に空屋があればその空屋の警戒をどうするか等のことを打ち合せて置きます。

警戒警報が發令されたら

家庭ではどうするか

警戒警報が發令されたら何時敵機が來襲するかもわからぬ状況にあるのですから、各家庭では直ちに左のやうな措

置とります。

(一) 全家族に「警戒警報が発令された」旨を傳へ、夜間なら燈火を管制します。

(二) 防火用水槽や、桶、樽、風呂桶、その他の大きな貯水容器に水を満します。

(三) 防火用具を出して所定の場所に配置します。

(四) 揮発油、アルコール、セルロイド、油脂類その他の引火性の強い危険物を地下二十種（約七寸）以上の深さに埋めます。地下に埋めることの出来ない場合には、なるべく安全な場所へ藏ひます。

(五) 押入、戸棚の中などを整理し、屋根裏や床下なども燃え易いものを置かぬやうにします。その他屋内も整理して、要するに、なるべく焼夷弾が落ちて来ても燃えつく物がないやうにします。

(六) 防火活動を迅速にするために、家屋の周囲の通路や露地等をよく片付けて、通路を開けて置きます。

(七) 警戒警報が出たら、特別の用がある場合のほかなるべく外出しないやうにします。やむを得ず留守にする場合

合、または老人子供や病人だけを殘して外出する場合には、必ず組長と隣の家に知らせておかねばなりません。

組長はどうするか

警戒警報が発令されたら、組長は直ちに次のやうな措置をとらねばなりません。

(一) 隣組共同の防火水槽に満水させ、防火器具を適宜な場所に配置します。

(二) 井戸水や池水、流水などを直ぐに利用できるやうに準備させます。

(三) 何時空襲警報が発令されても、直ぐに防護監視員を任務につけるやうにして置きます。殊に夜間に發令された場合は、手ばかりのないやうにして置きます。

空襲警報が発令されたら

家庭ではどうするか

空襲警報が発令されたら、敵機が既に間近に迫つてゐる

警報一覽表

報	警	防	報	警	防
サイレン	警	鐘	電燈點滅	煙	火
警戒警報	警	鐘	電燈點滅	煙	火
解除	警	鐘	電燈點滅	煙	火
空襲警報	警	鐘	電燈點滅	煙	火
解除	警	鐘	電燈點滅	煙	火
同解除	警	鐘	電燈點滅	煙	火

のですから、直ちにその旨を全家族に傳へて次のやうな措置をとります。その仕事はあらかじめ分擔を決めて置くことが肝要です。空襲警報が發せられてから敵機が姿を現はすまで普通五分か十分ぐらある警ですが、状況によつ

るものに水を満して置きます。この時水道栓を明け放しのままにして置くと、水壓が低下し消防に差支へを生じますから、締めることを絶対に忘れないやうに。

(四) 水道用のホースがあれば、これを水道栓につけ、

ては空襲警報と同時に敵機が現はれることもありませうから、極めて迅速に、しかし沈着冷静に行動することが必要です。どんなに時間があつても、次のことだけは必ずやらねばなりません。

(一) 夜だつたら先づ燈火を管制し、外からも見廻つてみて、光の漏れてゐるところはないかを調べます。

(二) 晝夜を問はずまづさきにやらねばならぬことは火の始末です。炭火、ガス、カマド、電熱器、石油、燈明など、一切の火を消します。ガスは必ず元栓を締めます。

(三) あらかじめ水を満してある防火用水槽のみならず、桶や放水用バケツなどあらゆるものに水を満して置きます。この時水道栓を明け放しのままにして置くと、水壓が低下し消防に差支へを生じますから、締めることを絶対に忘れないやうに。

後には縮めて置きます。

(五) 家屋内部の障子と襖は全部取り外します。これは焼夷弾が落ちた時、燃え着き易いからこれを防ぐためですが、消防活動にも襖や障子があつては邪魔です。

(六) 雨戸やガラス戸は全部締めます。但し鍵や錠はかけないで、全部直ぐ開くやうにして置きます。これは隣からの延焼を防ぐためですが、開かないやうにして置く自分の家に落ちた時消防活動が遅れます。

(七) 裏木戸や隣家との通路を明けます。垣や柵があつて隣家との連絡の不便なところでは、前もつて通路を作つて置く方がよろしい。

(八) 一方、病人や老人子供などは、防空壕や防護室があればそこへ移します。

(九) 以上の處置を終つた後に、いやしくも防空に活動し得る者は(防空従事者)全員、防火の服装に改め、所定の場所待機姿勢をとります。その前に防空責任者は注意のためにもう一度、落付いて室内その他を見廻つて下さ

(十) 空襲警報が發せられたら、必要やむを得ない場合以外は絶対に外出してはなりません。路上を通行してゐるのが最も危険です。

組長はどこなするか

組長は空襲警報が發せられたら次ぎのやうに處置します。

(一) まづ防護監視員を監視所に配置して、敵機の行動と焼夷弾が何處に落ちるかを監視させます。監視員は一人三十分づゝの交代とします。この監視員は高射砲弾の破片に對して頭部を護るやうに考へねばなりません。

(二) それから群内を見廻つて防火準備を再び點檢し、不備の點があれば完備させます。このとき組長はできるだけ各家庭に沈着、冷静を保持せるやうに注意します。

(三) 各戸で空襲發令時の處置が終つたら、防空従事者全員を所定の場所待機させます。

焼夷弾が落ちたら

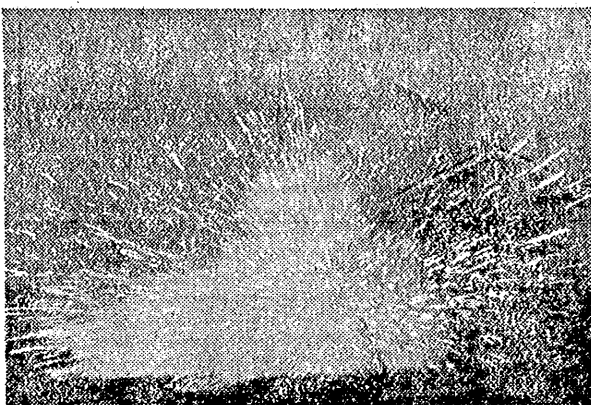
焼夷弾の種類と見分け方

焼夷弾には御承知の通り、油脂焼夷弾、エレクトロン焼夷弾、黄燐焼夷弾の三種があり、その種類によつて多少取扱ひ方の要領が異なりますから、まづその見わけ方を表にして掲げませう。

油脂焼夷弾	發火と同時に多量の黒煙と赤い煙を出し、油が燃え上りながら周囲に飛び散り、また油が燃えながら流動する
エレクトロン焼夷弾	爆管をあけて發火し、燦々たる白い光を出しながら、火花を散らして高温で燃える
黄燐焼夷弾	燦々たる音と共に發火し、火の粉となつた黄燐を四方に飛び散らしながら、多数の白い煙をあげて燃える

焼夷弾の防火法

エレクトロン焼夷弾 は彈殼(彈の外側)をエレクトロニウムを主成分とする輕合金で作り、中にテルミット(鎢線接合等に用ひてゐるもの)が入つてゐます。煙



燦々たる白い光を出して、火花を散らして燃焼の盛んなのは發火後二分か二分位ですが、三十分から一時間ぐらゐ燃えます。この時テルミットは攝氏三千度ぐらゐの高熱を出します

から、直接水をかけても消えませぬ。一キロのエレクトロン焼夷弾なら高さ半米ぐらゐの

煙を上げ、八層敷ぐらゐの廣さに火の粉を飛ばし、五キロ級のものには二米ぐらゐの煙が上り、十四層敷ぐらゐに火の粉

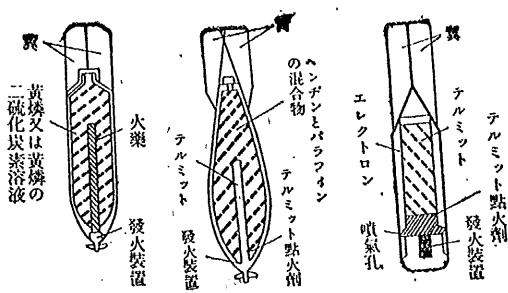
各種焼夷弾効力判定表

弾種	二キロ焼夷弾		
	油	クレエ	黄燐
貫徹力	通常の鉄筋コンクリート造陸屋根を貫徹せざるも木造瓦葺においては屋根天井を貫徹す。また小屋組材等に命中せるものは天井裏に止まることあり		
燃焼状況	火法飛散の高さは約三米飛散範囲は約一五米火焔の高さは約一米なり 燃焼の耐なるは落達後全弾の燃焼時間は約二〇分乃至三〇分なり	落達と同時に爆発し多くの破片を飛散す 破片飛散の高さは約四米飛散範囲は半徑約二〇米にして破片は約三〇分間燃焼す	一時に發火し火焔の高さは約二米に及ぶものもこれを五、六米の範囲に飛散せしむ 燃焼の耐なるは落達後五秒乃至一分にして全弾の燃焼時間は五、六分なり
火災の機会	障子、襖等のある室に落下せるもの、羽目板に接近して落下せるもの等は火災發生の危険大なるも周囲に可燃物なき疊上に落下せる場合は火災發生に相當の時間を要す	黄燐の爆燃に因り破壊効力大なるも油脂及びエレクトロンに比し燒夷効力著るしく劣らば即ち家内を整理しあらば板材等に附着するも火災の機會は甚だ小なり	發熱量大、且つ彈子飛散に因り點火するものに於てエレクトロン及び黄燐に比し木造建家に對する火災發生の機會大なり
落達より火災狀態となるに要する時間	一分乃至三分	一分乃至一分半	二分乃至一分半
消火	初期において漏延にて掩覆し火焔の飛散を防ぎ周囲の延焼箇所を水にて消す 掩覆せる焼夷彈は三分乃至四〇分燃焼を續くるを以て監視するを要す	黄燐の彈子を満瓶巾等に試取るか中和液とに對し五〇瓦液(一)立に對しこの總對に手を觸れしめざるを要す 火焔は水にて消す 燒夷の彈子は乾けば再び發火す、故に土にて埋ね細分するを可とす	形式により異なるも彈子飛散のものは彈子に、噴出式のものは噴出口に砂を掩覆すれば消火す、周囲の延焼防止は水にて可なるも、また泡沫及び薬品消火は更に可なり

弾種	一キロ焼夷弾		
	油	クレエ	黄燐
貫徹力	通常の鉄筋コンクリート造陸屋根を貫徹し、木造一階建においては屋根天井を貫徹して床下に二階建において二階を優に貫徹し一階に落達す 小屋組材等に命中せるものは、一階建は床下に、二階建は二階床に止まることあり		
燃焼状況	火法飛散の高さは約七米飛散範囲は半徑約一〇米、火焔の高さは約四米なり 燃焼の耐なるは一〇秒乃至二分にして、全弾の燃焼時間は一時間前後なり	一時に發火し火焔の高さは約五米に達す 彈子を飛散する型式のものこれを一〇數米の範囲に飛散せしむ 燃焼の耐なるは落達後五秒乃至三分にして、全弾の燃焼時間は約八分なり	落達と同時に爆発し多くの破片を飛散す 破片飛散の高さは約五米に及ぶものもこれを三〇分間燃焼す
火災の機会	二キロ焼夷彈及び一〇キロ焼夷彈の燃焼狀況を比較するときは、前者に比し火災發生の機會は更に増大す		
落達より火災狀態となるに要する時間	三〇秒乃至四〇秒	三分乃至一分半	四〇秒乃至一分半
消火	概ね二キロ焼夷彈に準ず		

飛ばします。

消火法は、焼夷弾そのものを消すことはできぬから、燃えてゐる中心に砂をふりかけて、火勢を抑へるのがは濡



最も有効な方法です。或ひれ蒲團、濡れ氈等をかぶせて火勢を抑へる一方、延焼を防ぐために燃え易い近くの押入れ、襖、机、箆等に手早く水をかけることで火力の衰へたものは長棒で外へ突き出すことができます。火花は景氣よく出ますが被服類に点火する虞は少いから、できるだけ近寄つて勇敢に消火に努めることです。

油脂焼夷弾 内部に固形油又はベンゾールとパラフィンと混ぜたもの等が入れてあつて、爆発と同時に油が燃えな

から周囲に四散します。五キロの油脂焼夷弾で焰の高さ三米(十呎)で五米、燃焼の盛んなのは落下後五秒から一分の間で(十キロなら五秒から三分の間)、五、六分で(十キロなら約八分)燃え終ります。放つて置けば、五キロ級で一分以内、十キロ級で三十秒か一分半ぐらゐで周囲のものに燃えつき火災となります。

消火法は泡沫消火器、四酸化炭素消火器等があればこれを用ひますが、なければ砂、土、蒲團等で覆ふ一方、周囲の燃え易いものに水をかけて延焼を防止します。油火災ですから直接に弾に水をかけることはよくありません。

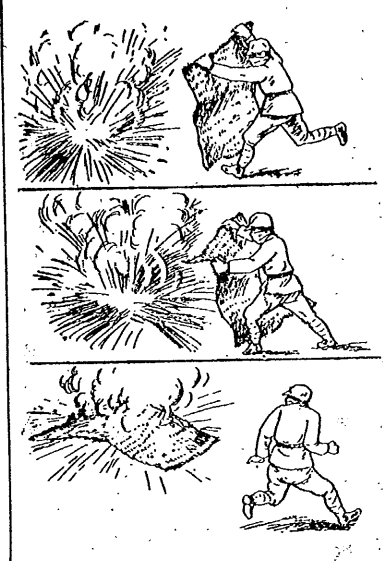
黄燐焼夷弾 内部に黄燐か、黄燐を二硫化炭素で溶かしたものが入れてあり、落下と同時におそろしい音響を立てて炸裂し、黄燐の火の粉が四方に飛び散ります。焼夷の威力はエレクトロン焼夷弾より遙かに弱く、家内が整理してあれば、板等についても餘り火災にはなりません。消火法は砂や土をかぶせ、水をかけて消します。黄燐は水がなくなると自然発火しますから、一度消えた後も残つてゐる黄燐を除いて、屋外で完全に燃焼させなくてはな

ません。特に液状の燐の流れこむ床や、接ぎ目や裂け目などに注意します。この黄燐を除けるとき素手や素足で觸れると擦り難いヤケドになりますから、必ず濡れ手袋をはめてやつて下さい。黄燐の飛沫は濡れ雑布等で拭ひとりま

要するに焼夷弾防火のこつは、落下したら直ぐに駆け

濡れ氈のかけ方

盛んに火沫を飛ばして燃えてゐる焼夷弾に濡れムシロをかけるにはかうします。イムシロの短い方の端から少し内側を両手で握つて目の高さにあげ口垂れ下つた部分を足先きで蹴りながらムシロを楯に焼夷弾に近づきハ燃えてゐる焼夷弾に約一米三二尺ぐらゐまで近寄つたところで、両手を少し上へあげながら、焼夷弾へ覆ひ被せます。



かうして焼夷弾の火力が衰へて來たら、なるべく早く長棒かシャベルで屋外へ出します。

隣組はどう活動するか

防空従事者はどうするか

(一) 焼夷弾が落下して来たら、防空壕の中に待避してゐる人も、家の中にある人も一齊に飛び出して、直ちに防火に努めねばなりません。防火に當るのは、單に防空責任者だけではなく、隣組全員の責任です。病人、不具者、老人、子供のほか、いやしくも活動し得る者はことごとく飛び出して、隣組総動員で防火に當らねばなりません。病人とか老幼を除く一般の人を防空従事者と呼ぶのは、かう言つた意味からです。

焼夷弾が落下した時、無闇に恐れおのゝいで、防空壕や待避所の中でグズグズしてゐたしたら、消すべき火を消さぬことになり、火災の煙と焰によつて、かへつて危険が迫つて来るでせう。勇敢に飛び出して防火に活動して下さい。爆弾は一度落ちたところに二度落ちることは絶対にありません。勇敢に飛び出して防空に活動すること、それが

全國民の責務であり、また最も安全な方法です。

(二) 自分の近くに焼夷弾が落下したことを知つた人は、大聲で「焼夷弾、々々々」とドナッテ皆を呼ぶと同時に、自ら直ちに前に述べたやうな焼夷弾防火の措置をとります(空罐、カナグラヒがあれば、これを鳴らしながら呼んだ方が効果的です)。とにかく焼夷弾対策は寸刻を争ふもので、遲疑逡巡して一刻でも遅れば遅れただけ作業が困難となりますから、全國民の一人々々が、眞つ先きに焼夷弾めがけて突進するといふ意氣込みでやつて下さい。

(三) 防護監視員として見張りに立つてゐる者は、自分の隣組内に焼夷弾が落下した時は、「誰々方(二階、東側露地等)に焼夷弾落下」とメガフォンで怒鳴ると同時に、空罐、カナグラヒなどを打鳴して合圖をします。これによつて全隣組員が出勤して前に述べた要領によつて防火に當ることになります。

(四) 焼夷弾に近づいて防火に當る人は、頭から水をかぶつて被服を濡して置きます。かうしておけば焼夷弾に近づいても安全です。

(五) 焼夷弾防火の要領をもう一度繰返して言へば、濡れムシロ、濡れ蒲團、土、砂等を焼夷弾に被せて火勢を抑へる一方、周囲の燃え易いものや天井等に水をかけて、延焼を防止することです。

焼夷弾自體に水をかけても消えません。また落下と同時に發火して火勢が猛烈となりますから、焼夷弾自體を屋外へ運び出すことは困難です。但しエレクトロン焼夷弾の火力の衰へたものは運び出すことができます。また黄燐焼夷弾や油脂焼夷弾の飛沫は撤去できます。

(六) 防火に當つては隣組の防火器具を集中使用します。即ちポンプ、消火器、水道ホース、手送りのバケツの水等、隣組の全部の防火器具を總動員し、隣組全員が全力をあけて防火に努めます。

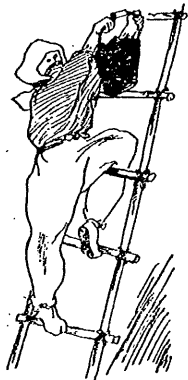
(七) 消火の水を無闇に煙や炎の中に撒いても無意味です。姿勢を低くして燃えてゐる所をよく見定め、燃えてゐる周囲から水をかけて行くことが消火の原則です。手押しポンプか水道ホースではつきり目標を見定めて正確に水をかけることが最も効果的ですが、バケツでも水を半

分か七分目ほど入れ、片手にバケツの蓋と縁とを一緒に持ち、他の手で底の縁を持ち姿勢を低くして目標をよく見定め調子をつけて水を纏めて勢よくサツとかければ相當の効果がありません。

(八) バケツを手送りで送る場合には五尺ぐらゐ(一米五〇)の間隔にするのが最も能率的です。これより間隔が開き過ぎても、狭過ぎてもスピードが落ちます。バケツ返送の方はこれより幾分間隔を大きくします。

(九) 水の入つたバケツを手送りする時は、バケツの蓋の中央を両手で握るものと蓋の左右を両手で握る者と交互に受渡しをするやうにします。

(十) 二階等の高い所へ梯子をかけてバケツ手送りで送



水する場合に
は、梯子の右
側送水の時は
左足を棧の裏
側に嵌め、足
の甲を下段

家庭防空早わかり

空襲に對する心構へ

- 一、空襲はいつ來ないとも限らぬものだが、我々の覚悟と努力によつては、被害を僅少に喰ひ止めることができる。全國民が一致して防護に當れば決して恐れるに足るものではない。
- 一、われ／＼國民は總て防空に従事する義務がある。われ／＼は一人残らず、持場々々を死守しなければならぬ。
- 一、我が國の都市は木造家屋の集りであるから、何よりも先づ防火に全力を注ぎ、われ／＼の手で絶対に焼夷彈の延焼を防ぎ止めよう。

平時の準備

- 一、空襲時には沈着、機敏且つ勇敢に行動しなければならぬ。周章、狼狽は何よりも禁物。
- 一、燈火管制のための、永持ちのする遮光具、居間、炊事場、便所等の隠蔽幕は、必ず全國の各家庭に
- 一、防火のための防火水槽、土、砂、葦、消火用具等は危険地域の各家庭に
- 一、井戸水、池水、流れ水等の利用も考慮に入れて
- 一、危険物、可燃物はなるべく地下穴蔵へ
- 一、いざ空襲の場合の任務の分擔をきめておくこと
- 一、貴重品類は非常袋に

警戒警報が出たら

- 一、直ちに全家族に傳へ、燈火の管制
- 一、貯水容器に満水、防火用具を所定の場所へ
- 一、引火性の危険物は土中へ
- 一、押入れ、戸棚、天井裏等を整理して、燃えつくもののないやうに
- 一、ガラス戸には裏表から紙を貼れ

空襲警報が出たら

- 一、先づ火の始末、ガスは元栓を締めよ
- 一、夜間なら燈火管制が真つ先きの急務
- 一、すべての貯水容器に満水、水道栓は締めよ
- 一、障子襖は取り外せ
- 一、雨戸やガラス戸を締めよ、鍵はかけるな
- 一、老幼病者以外は全部防火に待機の姿勢

焼夷彈攻撃を受けたら

- 一、彈が落ちたら二度は落ちぬから直ぐに飛出して防火に當れ
- 一、焼夷彈には砂、土、濡藁、濡蒲團をかけ、周囲から注水
- 一、焼夷彈は火勢は強いが、身體には危険は少い。火元に接近して勇敢機敏に
- 一、家財道具は飛火延焼の因、絶対に持出すな

爆彈攻撃を受けたら

- 一、とつきの時は、眼と耳を抑へて地に伏せよ
- 一、戸外に飛び出すのが最も危険
- 一、火の始末を忘れずに
- 一、乗物を道路の中央に乗り棄てるな
- 一、不發彈には近寄らぬやう、直ぐに警察署、警防團へ

の棧の表側にかけて、両手を離して自由に活動できるやうにします。左側送水の時は逆に右足をかうします。

(十一) かうやつて、隣組の全員が一致協力して勇敢に、機敏に活動すれば、焼夷弾は必ず喰止めることができます。焼夷弾の最も勢よく燃えるのはせい／＼二、三分の間ですから、火勢に恐れず、沈着機敏に處置すれば延焼を喰止めることができます。自分の隣組に落ちた焼夷弾はその隣組の手でどうしても喰止めるといふ覚悟でやつて下さい。

(十二) 焼夷弾攻撃の時には、多数の焼夷弾がバラ撒かれるのですから、その一つ／＼に官設消防が駆けつけて活動するといふわけには行きません。どうしても隣組の手で喰止めねばなりません。その活動も力及ばず遂に延焼して、大災になつた場合に初めて、官設消防の手に移るのです。

組長はどうするか

(一) 自分の組内に焼夷弾が落下した場合には組長は直ちに組内の防空従事者を出勤させて防火に當らせる一方、

直ちに警察署、警防團、または救護所に通知します。

(八) 不發彈を發見した時には、「危険」「注意」等の札を立て、人が近寄らぬやうに周囲に繩張りをして、直ちに警察署、消防署、または警防團に通知します。

火災になつたら

(一) かうした隣組一致の活動にかゝらず、延焼して遂に火災となつた場合、それでも「もう駄目だ」と思を投げつてはなりません。警防團なり官設消防の到着するまではあくまで努力して、延焼を少しでも防止しなくてはなりません。

一時は室中に火が擴がつて、手が附けられないやうに見えても、既に隣組の消火の態勢も整つてゐることです。焼夷弾は中央で燃えてゐるだけです。慌す騒がず、落着いて急所々々に注水して行けば火を鎮めることもできます。要するに最後まで諦めることなく、「どうしても消さねばならない」といふ強い責任感を以て全力を盡すことです。

傳令を出して最寄の警防團詰所または消防署に通知させます。しかし警防團も他に多数焼夷弾が落下してゐる場合には、来てくれるかどうかわかりませんから、あくまで獨力で處置する覚悟で活動しなくてはなりません。

(二) 鎮火した時は残火が再び燃え出さないやうに完全に鎮滅させ、その旨を最寄りの警防團詰所に報告させます。現場には警戒のため敷名を残し、他の者には次の空襲に備へるため、直ちに再び防空準備を整へて待機させます。

(三) 若し延焼が擴がつて組の力ではどうしても消火が困難な状態になつて来た時は、傳令を出して最寄りの警防團詰所か消防署にその旨を通知します。

(四) 他の群から應援に來た時は、大體の模様を話し、協力してもらひます。

(五) 警防團又は官設消防が到着した場合には、隣組は邪魔にならないやうにし、警防團か官設消防から何か要求があれば、その要求に応じて防空従事者に手傳はせませす。

(七) 若し負傷者があつた場合には直ちに應急手當を加へ、重傷の場合にはそのまゝ救護所へ送ります。と同時に

(二) 火が家全體に廻つて、どうにも手がつけれなくなつたら、隣の家への延焼の防止に努めます。隣家の火の燃え移りさうな箇所へ注水するのです。風下の家に主力を注ぐべきことは申すまでもありません。

(三) 獨立した家屋が燃え上つて、隣組で消火が不可能となり隣家に直接延焼する危険の少ない場合には、専ら飛火の警戒に當ります。

(四) 火焰が非常に強くなつた時は風下の飛火の消火に努めます。風上の他の群に火災が起つた時も同様です。

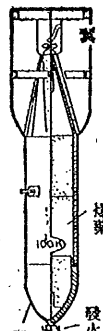
(五) 焼夷弾以外に爆弾によつて火災が起ることもありますが、出來るだけ早く發見するやうに努め、火が燃え上つたら直ぐに駆けつけて、直接燃えてゐる箇所を目標けて注水するとともに、延焼防止に努めます。

要するに、焼夷弾が家の中へ落ちて、燃えつき易いものが取除いてあり、隣員全員一致のかうした活動があれば、なんなく消止めることができます。

爆弾はどうして防ぐか

次に爆弾とこれに対する対策を述べませう。
爆弾の種類

爆弾は建物その他の工作物を破壊し、同時に人畜を殺傷するのが目的です。特殊な爆弾としては、ドイツがロンドン空襲に用ひてゐるやうな、落ちたときは爆発せず、数時間又は数日後に時計仕掛けや化学作用で爆発する時限爆弾、



特別に大きな音を立てて爆発する雷鳴爆弾、落下の時不気味な唸りを發する雷鳴爆弾など、オドカンを目的とした爆弾もありま

に話を進めて行きませう。
爆弾の大きさには二十五キロ、五十キロ、百キロ、二百五十キロから五百キロ、一トンといふやうな大きなものまでありますが、歐洲戦争の例を見ると、最もよく使はれてゐるのは五十キロと百キロで、二百五十キロは特殊な目的の場合ごく稀にしか使はれてゐないやうです。

爆弾の効力

そこでは五十キロ爆弾と百キロ爆弾の破壊力と殺傷力をみませう。

木造家屋はどうなるか

木造家屋に五十キロ爆弾が命中するとその家は全部破

壊し、内にゐた者は全部死亡します。附近の家も壁が落ちたり家が傾いたりします。

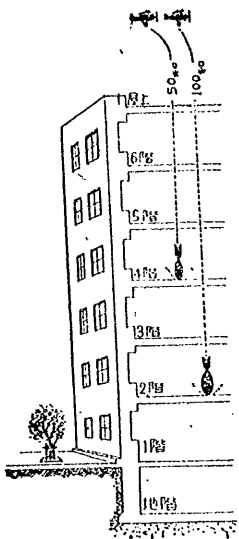
百キロ爆弾が命中するとその家全部と隣家の一部が破壊し、破壊した家屋の内の人全部死亡します。

また木造家屋では火災が起ることがあります。

鉄筋コンクリートの建物はどうか

命中した場合に屋上で爆発してしまふ場合と内部に深く入つてから爆発する場合とあります。

まづ五十キロ爆弾が命中して貫いたとすると（飛行機の高高度や建物の構造で異ひがありますが）、大體三層を貫いて爆発し、爆発した室の上下四層五米以内を破壊します。



百キロ爆弾が命中したとすると、五層を貫いて爆発し、爆発した室の上下四層十米以内を破壊します。

鉄筋コンクリートの建物の直ぐ傍へ五十キロ爆弾が落下したとすると、炸裂點から二米以内の外壁が破壊されて穴があき、また炸裂點から五米以内は窓に防護屏がつけてなければ、爆壓のため大半は死亡します。百キロ爆弾だと四米以内の外壁に穴を明けられ、八米以内の防護屏のつけない室内の者は大半死亡します。但し地下室は安全です。

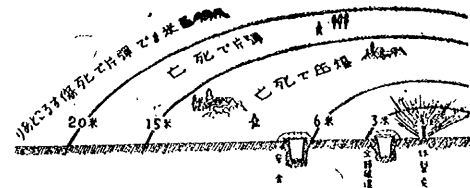
爆弾は恐ろしいものではない

一般に爆弾は非常に恐ろしいものだと思ひ込まれてゐるやうですが、これは爆弾が命中するものだといふことを前提とし、また爆弾に對して何の防禦措置もとらず無防禦であつた場合の話です。

一體爆弾といふものはなかく命中するものでなく、百發に一發、せい／＼五十發に一發目的物に命中すれば好成績の方ですが、それはとにかくとして、ぼんやり立つて見

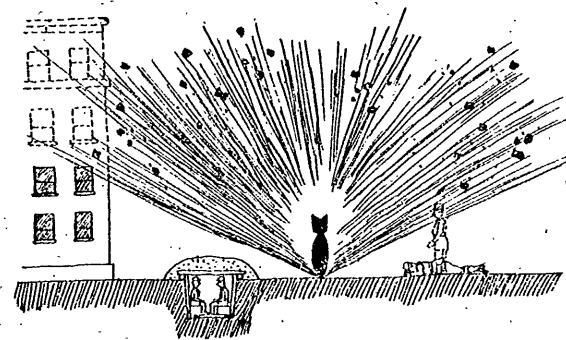
てをれば大きな死傷者を出す爆弾も、これに対する用意が
ありさへすれば、どれだけの効果をあげることもできませ
ん。

爆弾が落ちた時道路を歩いてゐたり、その他掩護物の何
にもない廣場などに密集してゐたり、無防禦でゐると



五十キロ爆弾なら、炸裂點から十
五米以内の者は爆撃のため全部死
亡し、また二十米以内の者は破片
のため死亡します。百メートル離
れたところにも破片のため死
傷することがあります。
百キロ爆弾だと、二十米以内の
者は爆撃のため、三十米以内は破
片のため死亡し、百三十メートル
のところでも破片のため死傷する
ことがあります。

ところが地上に身を伏せるとか、掩護物を利用するとか
すれば、近くに落ちても案外大丈夫なものです。



また防空壕に入つてゐると、五十キロ級が三米以内に落
ちると破壊されて死亡するが、六米離れてゐると安全で
す。百キロ級でも四米以内に落ちると死亡しますが、八米
離れてゐると安全です。

下しても大丈夫かと
いふ理由を説明しま
せう。

爆弾は炸裂する時
に起る空気の壓力
(爆撃—爆風ともい
ひます)によつて建
物を破壊し人畜を死
傷させると同時に爆
弾の破片(破片といひ
ます)を強烈な力
で飛散させて人畜を殺
傷するものです。

その炸裂によつて吹き飛ばされた建物等の破片が更に周囲
の建物を破壊し、人畜を殺傷します。

その爆弾の炸裂は圓のやうに扇形の上に擴がつてゐま
す。従つて上の方は危険ですが、下の方は比較的安
全です。爆弾が身近くに落ちた場合に伏せよといふのはこの
理窟からで、立つてをれば頭部が扇形の中に入りますが、
伏せるとはいらないからです。防空壕はこの理窟を更に徹
底したもので、地下に身體が入つてゐますから、非常に近
くへ落ちてても安全なわけです。また掩蓋のある防空壕な
ら破壊された建物の破片や爆片の飛んで來るのも防げま
す。

勿論直撃弾を喰らへば餘程頭丈なベトンの防空壕に入
つてゐてもやられますが、一寸離れて五、六米となると簡単
な防空壕でも大丈夫です。三米以内といふやうな近いとこ
ろへ爆弾が落ちることは滅多にあるのではなく、餘程運
の悪い人といへるでせう。

爆弾はボンヤリ立つてゐない限りさう被害の大きなもの
ではありません。ロンドン空襲でも、最初は恐ろしいもの

見たさの好奇心から、高い建物の窓などから首を出しての
ぞいてゐた者が相當あつたので、非常に多數の死傷者を出
しましたが、市民がそれを知つて止めるやうになつてか
ら、爆撃の猛烈さはかつて加はつたのに死傷者の数は減
つたといふことです。

敵機空襲の場合、市民が路上をウロ／＼さへしてゐなけ
れば爆弾による人命の死傷は大したことはありません。爆
弾に對しては適當な措置さへ執れば被害は極く局部的です
し、しかも瞬間的のもので、焼夷弾攻撃による延焼
火災の慘禍に較ぶれば問題がないほど小さいといへるで
せう。

もう少し詳しくいへば、いま假りに敵機が日本を空襲に
來るとしても、積載量一トンの爆撃機で百キロなら十發、
五十キロなら二十發です。二十機編隊でも百キロで二百
發、五十キロで四百發しか持つて來られません。とにかく
その二百發なり四百發なりの爆弾を投下してしまへば、
被害はそこだけのことであり、爆撃した瞬間だけのことで
す。焼夷弾攻撃に手を拱いて、火災を起させ、どん／＼

ります。

路上を通行中の場合

道路を通行中に空襲警報が發せられたとしても、警報の發令から敵機の現はれるまでに五分や十分ぐらゐる時間があるのが普通ですから、慌てずに、沈着冷静に處置を考へることです。空襲警報は廣い地域全體に發せられてゐますが、敵機が爆弾を投下するのはその中のほんの一局部です。自分のゐる場所がその危険區域であるかどうかを考へ、危険區域でなければ別にアラワテる必要はないわけです。

危険區域だと、空襲を受けるやうな状態になつてゐるとすると公共待避所、防空壕等の施設がある筈ですから、アラワテずここへ待避することです。街路にボンヤリ立つてゐることが最も危険ですから、公共待避所が満員だつたり、なかつたりした時は附近の鐵筋コンクリート等の堅固な建物に入るとか、掩護物を利用します。

若し、路上を立ち去る間もなんにもなく敵機が迫つて爆

弾を投下したとしたら、溝、凹地等を利用して地上に臥すのが最もよろしい。全く餘裕がなく溝も凹地もなければ、とにかくとつさに平地に臥すことです。姿勢を低くさへして置けば近くで爆弾が炸裂しても、案外助かるものです。

たゞしこの時、眼と耳を指でしっかりと抑へることを忘れなさい。爆壓によつて鼓膜が破れ、眼をやられる虞れがあるからです。

各人がかうして、沈着冷静に處置すれば、爆弾の威力は案外大したことはないものです。かへつて狼狽した多數の人が一ヶ所へ殺到して死傷者を生ずることの方が恐ろしくらゐるです。(汽車、電車、バスなどの一列通行は、單に交通道體の上からだけでなく、防空の見地からも秩序維持の習慣を養ふ訓練として是非やつて置きたいものです。)

電車に乗つてゐた場合

市内電車に乗つてゐた場合に空襲警報が發せられると電車は停車しますから、車掌の指示に従つて下車し、最寄りの待避所に待避します。

自轉車、自動車で通行中の場合

交叉點、曲り角、橋梁など、要するに交通の妨げとなるやうな場所を避けて車を止め、前の要領で待避します。アラワテて車を道路の中央に乗り捨てたりすると、消防自動車の活動に多大の支障を生じますから、道路の端の方へ寄せ、疎開して停車することが何よりも肝要です。

劇場、映畫館、百貨店等の客

劇場、映畫館、百貨店等、多數の人の集るところで見物をしたり、買物をしたりしてゐる人は、係員の誘導に従ひます。この時アラワテ押し合ひ、シ合ひをやることがかへつて危険であることは、改めて申すまでもありません。

鐵筋コンクリートの建物にあつた場合

鐵筋コンクリートの中にある場合は、多くは勤務中の場合でせうから、かねて定めてある持場につかねばなりません。一般的ないへば、命中弾に對しては下層ほど安全だ

し、外に落ちた爆弾に對しては中央部ほど安全です。従つて格別の任務もないのに屋上や高いところの窓から首を突き出して見てゐるといふやうなことは、暴虎馮河といふべきです。

堅牢な鐵筋コンクリートの下層でも窓その他からは弾片が飛び込みますから、土嚢とか厚板で防護する必要があります。

勤務中の場合

勤務中に爆撃を受けたとすれば、その勤務先々々で非常の場合の措置が定めてある筈ですから、勿論それに従つて行動しなければなりません。よし多少の危険が伴はうとも自分の持場だけは死守しなくてはなりません。

不發彈の處置

落下した爆弾の中には不發に終るものもありますし、またドイツがロンドン空襲に使つてゐるやうな時計仕掛けの爆弾もあります。不發彈は處置を誤ると思はぬ被害を受け

ますから、不発弾を発見したら絶対に手を觸れないで直ぐに警防團、警察署等へ届け出で、周囲に綱を張つて人を近づかせないやうにして置きます。

防空壕について

次に防空壕のことについて述べませう。近頃ふちこちに防空壕が作られてゐるやうですが、注意していただかねばならぬのは、絶対に爆弾を投下される危険のない場所にまで防空壕を作ることには無意味だといふことです。いや、空襲があつたら國民の全部が防空壕へ逃げ込んでしまふといふやうな消極的なことでは、空襲に打ち勝つことはできません。

必要なところには、必要になれば防空壕を作らねばなりません。遠鄙な農山漁村とか、爆撃される虞れの極めて少ないところには作る必要はありません。いや、むしろ資材を必要な方面に廻すために遠慮していただかねばなりません。必要なところへは、作ることが必要になつて来れば當

局から指示がある筈ですから、慌てる必要はありません。そこでこゝには單に應急の防空壕の作り方を述べるに止めます。

防空壕はなぜ作るか

防空壕はなぜ作るか？ といへば、勿論爆弾の威力を喰ひ止めるためですが、それにしてもたゞ消極的にいへばゆる逃げ隠れる場合と、積極的に敵の空襲に打ち勝たうといふ場合では、防空壕の觀念から作り方まで、根本的に異ひます。わが國の防空壕は、積極的に防空活動をするための待避所であつて、敵の飛行機が飛び去つて終ふまで入つてゐる消極的な避難所ではありません。

わが國の國民防空が防火第一主義であり、敵の焼夷弾攻撃は隣組の手で防ぎ止めるといふ自衛防火主義であることは前に述べました。この防火活動のために、國民のすべてが待機姿勢でゐなくてはなりません。無防禦で玄關口に立つてゐたのでは敵機が爆弾と焼夷弾を混ぜて落して、その活動を妨害する場合は考へられますから、防空壕とは、爆弾が落された場合一時その破片を避け、次ぎの瞬間

には爆弾を飛出して勇敢に焼夷弾防火に突進しようといふたぬのものです。

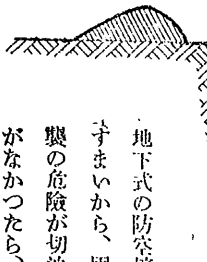
應急防空壕の作り方

開放型

防空壕には開放型(穴を掘つただけで天井のないもの)と掩蔽型(上に掩蔽のあるもの)、地上式(收容室が地上にあるもの)と地下式(收容室が地面より下にあるもの)、半地下式(その中間のもの)等種々の型式があります。どの型式がよいかといへば勿論開放型より掩蔽型、地上式より地下式がよいといはねばなりません。

(一) しかし實際問題としては、平時から各戸に掩蔽型地下式の防空壕を作つて置くわけにも行きま

すまいから、國際情勢が緊迫して木當に空襲の危険が切迫して来た場合、防空壕の用意がなかつたら、まづ身體の入るだけの穴を掘ればよろしい。これなら誰にでも雑作なく出来るでせう。

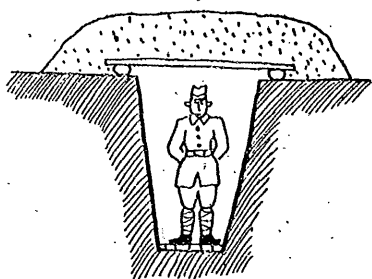


簡単ながこれでも開放型の防空壕の一つです。穴を掘つただけの開放型の防空壕でも、入つてゐるとゐないのとでは大變な異ひであることは前に述べた通りです。爆弾炸裂の際の爆風、爆片による直接の被害は大概逃れることが

掩蔽型

出来ませう。

(二) たゞ何分天井がありませんから、爆弾の炸裂によつて破壊した建築物の破片等が飛び込んで来るのは完全には防げませんが、應急の場合の第二段の處置としては、この穴の上に戸板か何かを二枚ばかり置いてその上に土を盛りま



空襲時に處する國民の心構へ

以上、敵機の特攻攻撃に對する防火法と爆弾に對する防禦法のうち、すべての國民が是非知つて置かねばならぬことは一通り述べました。

國土防衛は國民の義務

このほかに敵機の攻撃手段としては、普通ガス攻撃、毒ガス攻撃、細菌投下などが挙げられてゐますが、ガス攻撃は極めて非人道的なもので國際法規でも嚴禁されてゐり、また備へある都市空襲においては大して効果のあるものではありません。現に歐洲戦争でもあれだけの死傷を續けながら毒ガスは未だ一回も使はれてゐません。細菌投下も同様で、恐らくこれらの手段を執る時には敵國は最後の土壇場、即ち斷末魔の苦みが迫つた際と思はれます。勿論こ

の場合に處する萬全の對策は講じて置くべきですが、都市空襲、即ち毒ガス攻撃と臆断して、いたづらに無知の恐怖に戰くことがあつてはなりません。

近代戦である以上、いざ開戦となれば空襲は受けるものだとの覚悟でゐなくてはなりません。受けないで済むだらうなどいふ、好い加減な心構へでゐたのでは、本當に空襲された場合收拾すべからざる混亂に陥ります。空襲は受けるものだとの覺悟をきめて、全體が敵機の空襲を待ち構へてまれば、空襲の慘禍は未然に防止され、損害は「なんだ、こんなものか」といふほどに輕微なもので済ませよう。空襲を防ぐ途は、全體がこの覺悟を決めるか決めないかにかゝつてゐるといへるでせう。

襲の實相を見れば、既に述べた通り、決して恐るゝに足るものではありません。空襲は恐るべきものだと思ひ込んでゐる人もあるやうですが、しかしこれは無防禦の場合、最も悲惨な空襲を想像した場合であつて、備へのある場合、或ひは現實に立脚して空襲の實相を見た場合のことではありません。備へあるわが國の現實を見れば、ロンドン、重慶のやうな空襲の脅威は我が國には絶對にありません。空襲は受けるものだとの覺悟をきめたなら、われわれは一死奉公の決意を以て一致團結して、國土の防衛に當らねばなりません。

防空は重要地區に重點

國土を護るのは、全體が一致團結して日本の國土を護るのです。自分の身の安全を圖るのではありません。一方、一地區の安全を圖るのでもありません。すべての國民が一體となつて日本の國土全體を護るのです。

國土全體を護る場合、先づ國家の心臟部ともいふべき部分の防空に力を注がねばならないことは當然です。殊に資

材の限られてゐる戦時下の現在では、この防空準備の重點主義がどうしても必要です。爆弾を投下される虞れのないところで防空器材をやたらに買込んだり、防空壕を掘つたりすることは、それだけ重要部分の防空を手薄にすることになります。こんなところでは、徒らな防空騒ぎよりむしろ、附近の重要都市が空襲された際應援に駆けつける準備をするだけの心構へが欲しいものです。

日本で造る防空壕は、單に一身の安全を圖るためのものではありません。次ぎの瞬間に壕を飛び出して焼夷弾に突進して行くためのものです。自分一人、自分一家の安全のみを圖る個人主義、利己主義は清算されねばなりません。ドイツ國民ですら「爆弾は自分の頭上に落ちるのではない。ベルリンに落ちるのだ、ドイツの國土に落ちるのだ」と叫んでゐます。歐米輸入の利己主義、個人主義さへ清算すれば、われわれは自ら一死奉公の日本精神に徹底できる筈です。

家庭以外の職場においても、要は國民の一人々々が國土防衛の戦士であるといふ、はつきりとした自覺をもつて

各、その持場々々を護つて一歩も退かないことです、これが防空必勝の要訣です。

空襲に宣傳空襲といふのがあります。爆弾の代りに紙の爆弾、即ち宣傳ビラを投下して流言飛語を飛ばし、國內の治安を擾亂しようといふ謀略宣傳戦術です。これは事變當初、九州に飛來した支那機でさへやつてゐます。萬一、實際に敵機空襲といふ事態になれば、恐らく多數の謀略宣傳ビラが撒布されるでせう。空襲下に最も恐ろしいのは、爆弾でもなく、焼夷弾でもなく、流言飛語です。空襲時の心構へとして銘記すべきことは、絶対にいゝ加減な流言飛語を飛ばさぬこと、また信じないことです。

食糧その他にも備へあり

しかるに最近國際情勢の緊迫と共に、種々の流言が國內に行はれてゐるとの話を聞きます。徒らに揣摩臆測して流言飛語が横行したとすれば、空襲されないのに空襲されたと同様の結果に陥るといへるでせう。いたづらな流言に惑はされて、食糧の買溜めをやつてゐる人があるといふ噂も聞きます。有事の際の食糧問題については、當局で萬全の対策を練つて、萬一の場合があつても絶対に大丈夫なだけのものは準備してあります。

食糧の買溜めをすることは、現在の食糧の配給を混亂させるばかりで、他の國民の迷惑を顧みぬ非國民的な行爲です。その他經濟・金融等、あらゆる部面に對する萬一の非常對策も食糧同様、十分に講じてあります。世界はいま偉大な轉換期にあります。數年前の舊い經濟理論や、經濟觀念は、今日では全く通用しないと云つても過言ではありません。この情勢に即應して、國內においても經濟・金融の新體制が着々と實現の歩を進め、經濟・金融に對する政府の統制力は極めて鞏固なものとなりつゝあります。いかなる事態に立ち至らうとも、萬全の對策は準備してあります。備へあれば憂ひなし、敵機が來て呉れなければよいがなあとといふ消極主義ではなく、敵機來らば來れといふ、いはゆる來らざるを待たず、待つあるを待むの決意をもつて、全體が一致協力して時局乗り切りに邁進しようとはありませんか。

燈火管制についての心得

燈火管制は數年來の訓練によつて、一般に相當趣旨も徹底してゐるやうですから、こゝには簡単に要點だけ摘記することにします。

今度の支那事變でも、わが海軍が南京附近の尼寺に残つてゐた一燈を、手がかりとして南京を發見した話や、前歐洲大戰でテールライトを消さずに走つてゐる自動車があつたため、獨機に尾行されてロンドンの位置がわかつたといふやうな例もありますから、一燈でも規則違反があれば全部の苦心が水泡になることを了解し、全體が擧つて確實に實行するやう

にして下さる。

準備管制 情況が未だ警戒管制を行ふ必要もない場合に行ふもので、

屋外燈中の廣告燈、看板、裝飾燈、門軒燈類、特別屋外燈の中、地方長官の指定した燈火を管制します。

警戒管制 警戒警報が發せられたら別に命令がなくても、直ちに管制

屋内燈警戒管制の程度の一例を示すと次ぎの通りです。

室の大きさ	二燈	三燈	四燈半	六燈	八燈	十燈
點け得る燭光	一〇燭	一五燭	二〇燭	三〇燭	四〇燭	五〇燭
電燈の數	一箇	〃	〃	〃	〃	〃

一、總燭光がこの標準を超さなければ燈數を二つ以上にしてもよい。
二、一つの電燈は五十燭光を超えてはなりません。

しなくてはなりません。警戒管制は敵機に遠方から都市の存在を發見されないためと、直に空襲管制に移るのを容易にするためにやるもので、屋外燈の大部分は消燈し、屋内燈も家の中の燈火が直接外へ漏れないやうにします。

屋外燈は交通保安上等のためやむを得ない燈火だけ減光した上で遮光します。その他の屋外燈は全部消燈します。

屋内燈は外部へ漏れるものはすべ

種	類	記號
火災	報知機燈	火
非常	報知機燈	非
避難所防護室	標識燈	ヒ
救護所	標識燈	十
警察官署	標識燈	市
種	類	記號
消防官署	標識燈	Y
消防	檢標識燈	X
警防	圍標識燈	X
障	碍注意燈	赤色

て隠蔽或ひは減光して透光します。
以上のやうに減光した後でも直
射光が窓などから屋外へ漏れないや
うに遮光しなくてはなりません。
自轉車燈、手車燈、荷馬車燈、人
力車燈、提灯、懐中電燈、炭火、マッ
チ、ライター、煙草、寫眞撮影用閃光
等は屋外でも平常通り使用できま
す。

が見えないやうに遮光しなくてはな
りません。
空襲管制 敵機が附近に迫つて
るので、できるだけ早く一切の光を外
部へ漏さぬやうに管制しなくてはな
りません。
屋外燈 一部を除き、消燈或ひは
隠蔽します。
屋内燈 屋外に一切の光が漏れな
いやうに完全に隠蔽するか、消燈す

るかしくはなりません。川所
寮所、天窓、欄間等を忘れぬやうに。
その他自轉車燈、マッチ、ライター
炭火、煙草、風呂場、カマドの焚口、
煙突から出る火焰も一切外部へ光の
漏れないやうにしなければなりません。
防空實施の時に燈火管制の規定に
違反すれば、責任者(通常は戸主)は
三百圓以下の罰金又は拘留、科料に
處せられます。
X X
なほ警戒管制の場合に、留守にす
る時や寝る時には、空襲管制にして
おかねばなりません。
管制下にも平常通りの生産力を維
持することが肝要ですから、塵込んだ
り、必要以上の消燈を要求せぬやう。

寫眞
週報
(九月三日發行)
第百八十四號 定價十錢

都市防空特輯

☆都市が空襲されたら(翁)
☆その場合若し我が消防の義務をほうり
出して逃げまどつたとしたら(繪)
☆防空壕を作るなら、こんなのを作りませう(繪)
☆空襲の場合も恐れることはない
☆食糧はこんなに確保されてお
☆隣組防空には、これだけの道具を備へてお
☆きませう
☆國民學校と防空訓練
☆われらの都市は、われらの町は、われら
の家は、われらの手で護らう
☆英米ソの爆撃機十八種類の見分け方
☆空襲を恐るゝに足らず
☆隣組防空心得帖 ☆燃焼の科學
☆空襲下のロンドン生活體験記
☆消防の知識 ☆防空の常識 その他

週報叢書 (情報局編)

- △第一輯：會社經理統制令解説
 - △第二輯：貨銀統制令解説
 - △第三輯：新支那讀本
 - △第四輯：地代家賃統制令解説
 - △第五輯：銀行等資金運用令解説
 - △第六輯：從業者移動防止令解説
 - △第七輯：價格統制令解説
 - △第八輯：住宅建築物價格統制令解説
 - △第九輯：翼賛議會の總決算
 - △第十輯：國民貯蓄組合法の解説
 - △第十一輯：國家總動員法解説
 - △第十二輯：航空國民讀本
- 特輯：
○時局の重大性
○近代戦と金屬
- 内閣印刷局發行
各都道府県二〇部 送料三錢
各支店五部 送料一〇錢
各支店二〇部 送料一〇錢
各支店五〇部 送料一〇錢
各支店一〇〇部 送料一〇錢
各支店二〇〇部 送料一〇錢
各支店五〇〇部 送料一〇錢

週報	定	申	御	注
昭和十六年九月三日發行 情報局 東京市神田區 九段三丁目十二番地 電話九ノ内三五一一九 印刷者 内閣印刷局 發行者 東京市神田區大手町 印刷者 内閣印刷局	一部 五錢 (外埠郵便に依る場合は送料別) (送料別) (送料別) ▲陸揚郵便局宛の方は一部五錢 (外埠郵便に依る場合は送料別) (送料別) (送料別) ▲郵中送付の場合は送料別 (送料別) (送料別) ▲郵中送付の場合は送料別 (送料別) (送料別)	内閣印刷局發行課 電話九ノ内三五一一九 振替東京一九〇〇〇番	全國各地官報販賣所 各書店・郵便賣店	▲本誌より轉載の場合は必ず「週報叢書」の旨を明記し、その轉載料を情報局に送付して下さい。 ▲本誌記事の転載料は郵送して下さい。 ▲本誌記事の転載料は郵送して下さい。 ▲本誌記事の転載料は郵送して下さい。 ▲本誌記事の転載料は郵送して下さい。



◎

日産生命

本社 東京 日比谷

社長 伊吹 義震

相談員 川義介

本社 東京 日比谷

◎

日産火災海上

本社 東京 丸の内

社長 義震

相談員 川義介

本社 東京 丸の内

株式會社

最新礦業所之概

一、玉道、昭、才、意、西、に
興業の意氣も漸く
礦業都市を築きゆく
使命は、堅く、滿洲の
われ等、最新礦業所
二、胡、沙、吹、く、丘、陵、も、曠、原、も
無、限、の、資、産、花、ひ、ら、く
能、見、よ、や、露、大、掘、り
能、見、よ、く、事、業、の、成、果
三、新、昭、昭、と、早、新、と、渚、州、と
緑、は、那、ゆる、新、市、街
礦、産、の、施、設、整、ひ、て
農、林、の、感、容、美、し、き
五、族、協、和、の、理、想、輝、け
む、れ、等、の、付、付、に、見、よ
四、一、出、産、額、國、の
鐵、鋼、強、く、協、力、し
精、神、克、己、を、鍛、へ、し
日、滿、親、和、の、水、際、に
亞、細、亞、の、衣、冠、打、越、せ、し
われ等、最新礦業所




資本金三億圓

滿洲炭礦株式會社


本社 東京 新大仁路

露光量違いにより重複撮影



日産火災海上保険株式會社

社長 伊東 義介
相談役 丸の内

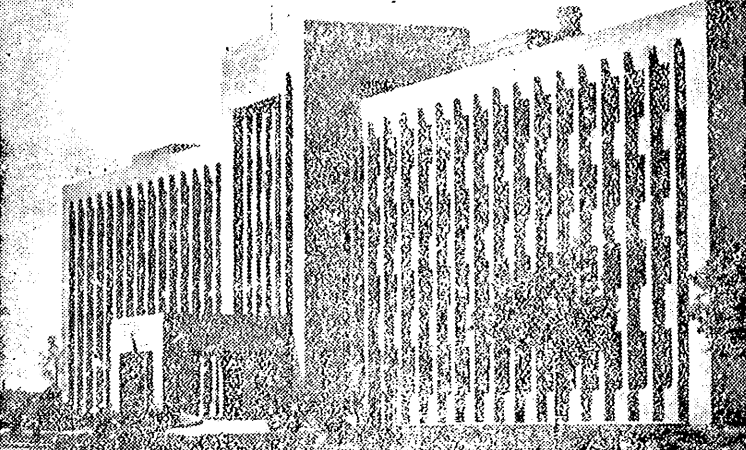


日産生命保險株式會社

社長 伊吹 義介
相談役 東 日比谷

阜新礦業所之歌

- 一、阜新礦業所は、東部の光輝を帯び、興業の意氣も漲り、繁栄都市を築きゆく使命を帯び、一躍一歩の進歩を遂げ、
- 二、開拓の精神を燃らし、歴史の頁を捲き、大見みや大業、偉びゆく事業、その成果、新文化の建設は、
- 三、鉄路、車輪、海船と、律はゆるる、都市街、幅員の廣さ、そして、繁華の感嘆、
- 四、五、六、七、八、九、十、



資本金三億圓
滿洲炭礦株式會社
 本社 新京 吳仁大路

露光量違いにより重複撮影

週報を圍でちつり隣組

週

報

昭和十二年十月三十一日
第三〇九號
（毎週一回水曜日發行）



オリザミンBの強力

東京・室町
三共株式会社

疲労の原因としてはエネルギーの給源たる
含水炭素の新陳代謝が妨げられることに因
ると云はれ、又体内の糖分が分解して乳酸
を生じ、これが体内に蓄積するからである
とも云はれてゐる。
ビタミンBの補給は含水炭素の新陳代謝に
必要欠く可らざるものであり、又体内乳酸
の生成を防止し、細胞機能の低下を未然に
防ぐことが實證されてゐる。
（水・錠・液・エキス・注射液）

内閣印刷局印刷發行

（判A5規格規定国はさき大の書本）